

市町村名	久米島町
------	------

平成30年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート

事業名	久米島町健康増進事業	事業類型	<input type="checkbox"/>	産業振興
			<input checked="" type="checkbox"/>	定住促進
			<input type="checkbox"/>	その他

担当部課名	福祉課	事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度
-------	-----	------------	------------

事業内容
糖尿病の因子解明に向けた調査研究及びスマホアプリ等を活用した健康支援システムの構築を行う。

先進性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性	<input type="checkbox"/> 政策間連携	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成
	<input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> その他

効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度	<input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和1年度)
--------	---	--

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 補助	<input type="checkbox"/> 負担	<input type="checkbox"/> その他 ()
------	--	--	-----------------------------	-----------------------------	----------------------------------

		H29年度	H30年度	R1年度		
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	184,134	71,233		
		(b) 予算現額	173,784	71,233		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 10,350	0		
		(d) 繰越額	0	0		
		A. 計(b+d)	173,784	71,233		
	B. 執行済額		164,514	70,932		
	うち補助金充当額		131,611	56,745		
	次年度繰越額		0	0		
	執行率(%) (B/A)		94.7%	99.6%		
	予算の状況の説明		当初の計画どおり、本町の糖尿病に対する有効な方策の検討・開発するための研究を適正に執行することができた。不用額301千円については、研究参加者が予定より減少したことによる費用の減である。			

活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R1年度		
活動目標(指標)及び達成状況	血液、排せつ物の解析を行い糖尿病を誘発する因子の解明	目標	(実施)	(実施)	()	()
		実績	実施	実施		
	事業参加者数	目標	(-)	(500)	()	()
		実績	-	347		
	糖尿病解決のためデジタルデバイスを活用した方策の検討	目標	(実施)	(実施)	()	()
		実績	実施	実施		
達成状況説明	<p>○被験者を募り、観察研究、介入研究等を進め、糖尿病を誘発する因子の解明を行った。 ○事業参加者数(被験者数)は、観察研究(178人)、介入研究:介入(65人)・非介入(48人)、排尿研究(56人)の合計347人となり、目標とした500人を下回った。 ○デジタルデバイスを活用した健康支援も本町独自の生活支援の方法として検討した。</p>					

成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	
			生活介入により、ヘモグロビンA1cの値が改善された町民の数	目標	()	(20人)
	実績			11人		
【参考指標】ヘモグロビンA1cの値が改善された被験者の割合	目標	()	()	(60%)	()	
	実績					
【参考指標】介入前より体重が1kg以上減少した被験者の割合	目標	()	()	(60%)	()	
	実績					
進捗状況説明	<p>○デジタルデバイスを活用した介入研究では被験者76人中11人が中断、残った被験者65人中11人にHbA1c改善が見られたが、目標とした20人を達成できなかった。 ○糖尿病罹患と相関関係の大きいメタボの改善指導に取り組むため、R1年度事業はHbA1cの値が改善された者の割合、体重が減少した者の割合を指標とする。</p>					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	○町が実施する健康診断の会場で被験者を募集し、健診結果を参照して個別にアプローチしたため本事業に興味を持ってくれる方が多く見られたが、プログラムへの参加には至らなかった方も多かった。また、プログラムに参加しHbA1cの値が3ヶ月目に27.6%改善しても、改善状況が継続できないケースが5割あった。	○町民がプログラムに気軽に参加し、また継続していけるような仕掛けが必要である。
	○健康管理支援システムについて、幅広い世代が抵抗なく利用ができるよう操作性改善が課題となっている。	○システムの操作性について、頻繁に使う機能へのアクセス性を高め、また住民生活や地域性を踏まえた内容を盛り込むことで操作性を改善させていく。

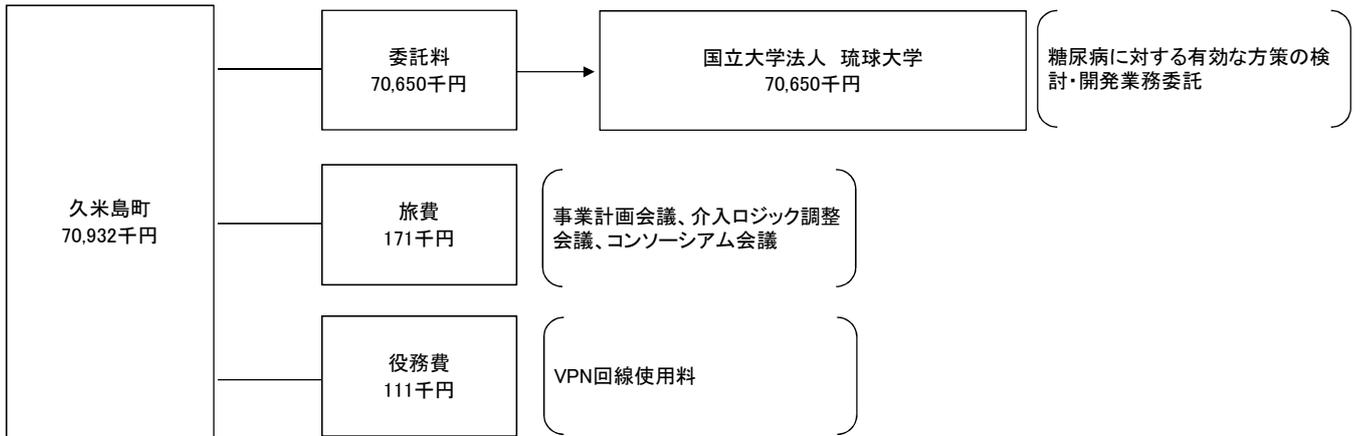
今後の取り組み方針

○健康状態に改善が必要な方だけでなく、多くの町民がプログラムに参加することで、未参加の方も気軽に参加し、継続性も高まると考えられる。町民全体を対象とした健康講演会等を開催し、幅広い参加を促していく。

○アプリについて、頻繁に使う「デジタルヘルス」の画面へのアクセス性を高めるために改修を行う。また、食事内容を登録する選択肢に地域の食生活を踏まえた選択肢を追加し、実態に沿った登録ができるよう改修する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金		補助対象外経費
		充当額	市町村負担金	
70,932	70,932	56,745	14,187	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託先は、事業の専門性や効果的な実施、これまでの実績を熟慮し選定しており妥当である。また、地方自治法施行令第167条の2第1項の規定により随意契約としている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	見積り精査のうえ、予算を編成した。また、不用額は事業費の1%未満であり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・使途に関しては、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ検収時において確認を行い適正であった。